

R4  
8

建築物の**各部の計画**に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 総合病院の改修計画において、一般病棟の床面積が内法 15 m<sup>2</sup>の2床室を、小児専用の4床室とした。
2. 市民ホールに設ける300席の小ホールの計画において、車椅子使用者用を含めて客席配置の自由度を高めるため、**平土間形式**とした。
3. 小学校の計画において、低学年の**普通教室**(35人)の平面形状は、情報端末や教科書等の教材の使用に配慮した机等のサイズ拡大を考慮し、流し台を含めて**9 m×9 m**とした。
4. ホテルの計画において、車椅子使用者用客室の出入口には、**有効幅員が 80 cmの引戸**を採用し、**取っ手側に幅 45 cmの接近**できるスペースを設けた

R3  
8

建築物の**各部の高さ**に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 百貨店のトイレ・洗面所の計画において、乳幼児用おむつ交換台の高さを、**50 cm**とした。
2. 庁舎の車椅子使用者用トイレの計画において、ドアを開閉するための押しボタンスイッチの高さを、**110 cm**とした。
3. ホテルのフロントカウンターの計画において、**一般用の高さを 100 cm**とし、**車椅子使用者用の高さを70 cm**とした。
4. 事務所ビルの事務室の計画において、**椅子に座ったときの視界を遮るためのパーティションの高さを、120 cm**とした。

R2  
8

建築物等の**各部の寸法等**に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 公共体育館の計画において、成人用バスケットボールコート**を二面配置するため、床面の内法寸法を、40 m×50 m**とした。
2. 屋内の公式試合用の硬式テニスコートについて、**ネット上部の天井高を、13 m**とした。
3. 競技場の観客席の固定座席の計画において、**座席の幅(1人分の間口)を45cm**とし、**前後間隔(椅子の背の間隔)を85cm**とした。
4. 屋内駐車場の計画において、一方通行の小型自動車の車路のうち、車路に接して駐車料金の徴収施設が設けられている場所で、**歩行者の通行の用に供しない部分の幅員を、2.5 m**とした。

建築物の**各部の寸法等**に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 地下階に駐車場を設ける**大規模店舗**において、売場のレイアウトと駐車場の駐車台数の効率を考慮して、**柱割りを8.5 m×8.5 m**とした。
2. 高層事務所ビルのエレベーターの計画において、**低層用 5 台と高層用 5 台とを幅 4 mの通路を挟んで対面配置**とした。
3. 図書館の開架閲覧室における複式(両面使用型)書架の中央支柱の心々距離については、車椅子使用者同士がすれ違うことができるように、**250cm**とした。
4. 普通乗用車を駐車させる**屋内駐車場**の計画において、1台当たりの所要面積をなるべく少なくするため、**直角駐車**とした

H25  
7

建築物の**各部の寸法**に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 排気量 50cc～250ccクラスのオートバイの駐車場の計画において、平行駐車**の 1 台当たりの駐車区画の寸法**を、幅 90cm×長さ 230cmとした。
2. 公共体育館の計画において、**天井の高さ**を、バレーボールの公式試合が行えるように 15mとした。
3. 図書館の開架室における**書架の間隔**について、車いす使用者の利用と通行に配慮して、225cmとした。
4. 事務所の階段について、昇降のしやすさに配慮し、**踏面寸法をT、蹴上げ寸法をR**とした場合、**T+2R=45cm程度**となるように計画した。

T+2R=60cm程度

H26  
8

建築物の**各部の寸法**に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 保育所の幼児用トイレにおいて、**3～5歳児用の小便器の間隔を、55cm**とした。
2. リゾートホテルの大浴場において、洗い場のカランの間隔を、**隔て板を設けなかった**ので60cmとした。
3. 事務所ビルの事務室において、設置するパーティションの高さを、椅子に座った状態で視通しがよくなるように、**床面から110cm**とした。
4. 屋内の公式試合用のテニスコートにおいて、**コートの中央部分(ネットの真上)の天井の高さを、15m**とした。

H27  
8

建築物の**各部寸法**に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 小学校における児童用の階段において、**踏面の寸法を 28cm、蹴上げの寸法を 15cm**とし、**墜落防止手摺の手摺子間の内法寸法を11cm**とした。
2. 劇場において、**座席の幅(1人分の間口)を 55cm**とし、**前後間隔(背もたれ相互の間隔)を 95cm**とした。
3. 図書館において、貸出用のカウンターの高さを、子どもや車椅子使用者に配慮して、**床面から85cm**とした。
4. 自転車の駐輪場において、**1台当たりの駐輪スペースを 70cm×190cm**とした。

H28  
8

建築物の**各部の寸法等**に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 中規模事務所ビルの計画において、**基準階の共用部の主要な廊下の幅員を、2.0m**とした。
2. 公共体育館の計画において、成人用バスケットボールコート**を二面配置するために、床面の内法寸法を、30m×35m**とした。
3. バスターミナルの誘導車路の屈曲部の計画において、**全長12m程度の大型バスの最小回転半径を、12m**とした。
4. 大規模量販店の計画において、**売場の客用通路の幅員は、主要な避難通路を3.0m**とし、それ以外の通路を1.8mとした。

H29  
7

建築物の**各部の寸法等**に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 乗用エレベーター(定員 24人)は、**かごの内法寸法が間口2,150mm×奥行1,600mm**のものを採用した。
2. 建築物の**主要な出入口の有効幅員を 1,500mm**とし、その他の出入口の有効幅員を 1,000mmとした。
3. 自走式の立体駐車場における自動車の車路において、**傾斜部の本勾配を 1/5**とし、**傾斜部の始まりと終わりのそれぞれの長さ 6 mの部分の緩和勾配を 1/10**とした。
4. 多人数の成人が使用する洗面所において、**隣り合う洗面器の中心間距離を850mm**とした。



R元  
7

建築物等の**各部の寸法**に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 排気量250 ccクラスのオートバイの駐車場の計画において、**平行駐車1台当たりの駐車区画の寸法を、幅60cm、長さ230cm**とした。
2. 庁舎の車椅子使用者用受付カウンターの計画において、**天板の高さを床面から70cm**とし、下部に車椅子のフットレストが入るスペースを設けた。
3. 多人数の成人が利用する**男性用便所**の計画において、**隣り合うストール型小便器の中心間距離を、90cm**とした。
4. 事務所ビルの計画において、**10席程度の会議室の内法寸法を、3.6 m×7.2 m**とした。

H30  
7

幅90cm×長さ230cm程度